



正月最初は丹沢山である。5時起き、5時37分発の電車、6時48分渋沢駅発のバス、そして7時05分大倉を出発。一本松ベンチまでの所要時間64分、天神尾根分岐のベンチまでの所要時間56分、塔ノ岳までの所要時間63分。最後がちょっとかかり過ぎだ。この影響が次の丹沢山への所要時間に出て73分かかった。帰りはもう時間も気にしないで歩いたので、大倉バス停に着いたのは16時30分近く。一日11時間半の行動だ。この間登りも降りも随分たくさんの人に抜かれた。かつての俺だったらこんな状況はプライドが許さなかった。しかし今の俺にはこの状況を受け入れる他に術はない。最近山登りを始めたとしか思えないような兄ちゃん・姉ちゃんのカップルにも抜かれたし、俺より年上と思えるのに身軽にポンポンと歩くジイサマにも抜かれた。そのほ





かニッポンのオカアチャンのおばさん、4・5人連れのお兄ちゃんエトセトラ・エトセトラ。今年の1年は大バテな年になりそうだ。もっとも去年は正月の丹沢山では調子良かったのに、そのあと随分バテる山が続いた。今年はずっとひどいということか。大学1年の時にワンゲル部に入っ

た時にはいつもバテていた。その時に戻っただけだ。でもあの時は努力すれば強くなることができて、まあそのようになった。しかし今の俺にはそれは期待できない。ヒト様にゴメイワクかけるようになった時は終わりの時だろう。そんなことを考えさせられる今年の新年登山だった。

